

第3会場● 4F 視聴覚室

■司 会／常岡 敏行 山口県下関市立神田小学校 教諭
飛永 哲男 福岡県福岡教育事務所社会教育室 主任社会教育主事

分科会の進め方

10:45～10:50

1 『こんにちは 赤ちゃん』-青少年と0歳児のふれあい・交流体験プログラムの意味- 10:50～11:20

伊藤ひろえ（鳥取県米子市）『こんにちは 赤ちゃん』実行委員会

県立赤崎高校が実践した「生徒と保育園児の継続的なふれあい」授業が、全国の小・中・高生にも体験できるよう、米子市内の青少年と0歳児及びその保護者とのふれあい・交流の場を創設した。鳥取大学医学部・米子市児童文化センターの協力を得ながら、青少年には、「いのちへの畏敬」、「親への感謝」、「役立ち感」をはぐくむ一助に、また、赤ちゃんには「安心感」、保護者には、子育ての励みとなればと願っている。

2 「今、音楽にもとめられているもの」 -参加型コンサートの生涯学習実践- 11:25～11:55

西川桂子（広島県呉市）JuJuミュージック パーカッショニスト

2005年のチャリティ・コンサートが出発点。以後春から秋を中心に月1～4回のコンサート企画。自らの演奏を中心に様々な音楽活動を展開、時には家族と、時には仲間と、場所を選ばず、対象を限定せず、参加型のコンサートは音楽を人々の日常の中に「移植」して行く。落語や紙芝居と同じく音楽を引っさげて個人が生涯学習の地平を切り拓く時代が来ている。

3 「学楽多塾」-はさま地域放課後子ども教室-NPO未来クラブの「多様性」への挑戦- 12:00～12:30

黒田美保（大分県由布市挾間町）はさま地域放課後子ども教室 コーディネーター

平成16年度から子ども教室の運営はNPO未来クラブが受託し由布市と協働で行なっている。プログラムも実施形態も多様である。例えば、活動は、「創作体感作戦室」、「食文化体験作戦室」、「自然体感作戦室」、「音楽体感作戦室」、「頭脳向上作戦室」、「ボランティア作戦室」などと続く。拠点は2か所であるが、遠い学校への「出前」も行い、プログラムを提供し、指導員を巻き込んで、既存の「児童クラブ」との連携も行っている。長期休業中もほぼ毎日開催。平成19年度から「放課後子どもプラン」に変更し、現在に至る。